

施策評価管理シート

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進	担当部局名	部局長名
	施策	2	生涯スポーツ	教育委員会事務局	高嶋 正広

1. 施策の基本方針 Plan

- 市民の誰もが、生涯を通して自主的にライフスタイルに応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、健康で、はつらつとした暮らしを営むことができる環境をつくるため、スポーツ関係団体や地域との連携を密にし、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。
- 市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができるよう、ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備について計画的に取り組めます。

2. 現状と課題 Plan

- ・例年開催しているスポーツ関連行事（体育健康フェスタ・名張ひなち湖紅葉マラソン等）では、より多くの市民の皆様に来場、参加いただけるよう企画内容の充実に向けた取組を行うとともに、福祉子ども部等と連携し、「名張ケンコー！マイレージポイント」を活用するなど、市民が健康・スポーツ行事に参加する機会をさらに創出する必要があります。
- ・スポーツをする人、全くしない人の二極化が進み、子どもの体力・運動能力が、親世代と比較して大きく低下する中、スポーツ活動への関心を高めると共に、個々のニーズに応じた企画を立案するなど、引き続きアプローチ方法を模索していく必要があります。
- ・老朽化が進んでいる体育施設の改修については、国体開催を見据え、必要な財源を確保しながら、早急に進める必要があります。
- ・三重とこわか国体の開催に向けて、推進組織を整備するとともに、市内開催競技種目の市民への普及啓発に取り組む必要があります。また、三重とこわか国体後の全国障害者スポーツ大会に関して、県等の情報を注視しながら、市福祉子ども部等と連携し、市内における障害者スポーツの現状把握ならびに開催競技種目に関する研究調査を行う必要があります。

○施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合（％）	目標	-	-	-	43.0	
	成果	41.5	37.8	43.8		100.0%
市民1人あたりの年間体育施設利用回数（回）	目標	-	-	-	5.0	
	成果	4.4	4.5	4.8		66.7%
総合型地域スポーツクラブの認定団体数（団体）	目標	-	-	-	5	
	成果	2	3	4		66.7%

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブや各種団体等との連携を図りながら、市民がスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。また、日常生活にスポーツを取り入れ、継続して活動できる環境づくりに取り組みます。 ・例年開催しているスポーツ関連行事（体育健康フェスタ・名張ひなち湖紅葉マラソン等）について、既存の運営にとらわれず来場者、参加者視点での企画内容となるよう努めるとともに、福祉子ども部と連携した「名張ケンコー！マイレージポイント」の活用等を通じて、市民がスポーツに触れる機会の充実に取り組めます。 ・三重とこわか国体並びに全国障害者スポーツ大会に向けて、三重県、関係機関や団体等と連携し、開催に向けた調査研究等を進めるとともに、市内開催競技種目の市民への普及啓発に取り組めます。 ・障害のある、ないを問わず、全ての市民がスポーツに親しめる機会を提供するとともに、障害者スポーツ競技を普及し、技術力向上を目指します。 ・体育施設については、引き続き適切に維持管理を行い、利用者の安全を確保するとともに、誰もが安心してスポーツに親しめる環境を整えるため、市民陸上競技場のスタンド・トイレの整備等、施設のユニバーサルデザインを意識した整備を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブを本年度も新たに1団体認定し、市民がより身近に、継続したスポーツに親しめる環境整備を進めました。 ・体育健康フェスタ・名張ひなち湖紅葉マラソンや名張市スポーツ推進委員協議会主催のおきつもウォーキング等、例年開催しているスポーツ関連行事に加え、平成29年度は、1,710名の市民とともに夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を開催しました。また、シニアスポーツ大学講座を開講し、スポーツの基礎を学ぶ座学やホッケー・弓道の実技体験を行うなど全10回の講座を行い、27名を地域のスポーツリーダーとして養成しました。さらにホッケーフェスティバルを開催し、国内のトップチームによる親善試合や同チームの選手を指導者としたホッケースクールを約70名の小中学生の受講生を対象に実施し、ホッケー競技の普及啓発を行いました。 ・三重とこわか国体並びに全国障害者スポーツ大会に向けて、三重県、関係機関や団体等と連携し、開催に向けた調査研究等を進めてきました。また、体育健康フェスタ、とれたて！なばり及び教育フォーラムにおいて、ホッケー・弓道の各体験コーナー及びその他名張市で開催する国体競技に関する啓発コーナーを開設し、市民への普及啓発に取り組めました。 ・体育施設については、スポーツを通じた市民の交流拠点として、また誰もが安心してスポーツに親しめる環境を整えるため、市民陸上競技場のスタンド・トイレの整備等、施設のユニバーサルデザインを意識した整備を行いました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

- ・例年開催しているスポーツ関連行事のうち、体育健康フェスタについて、被表彰者がより多くの集客があるとれたて！なばりでの顕彰を行うなど実施内容の見直しも含めた取組が必要です。
- ・体育施設の維持管理を行う中で、市民陸上競技場の夜間照明設備の不具合により、利用者の夜間利用に支障をきたしています。また、老朽化が進んでいる体育施設の改修について、三重とこわか国体開催を見据え、必要な財源を確保しながら、早急に進めていく必要があります。
- ・三重とこわか国体の開催に向けて、推進組織を整備するとともに、市内開催競技の市民への普及啓発の更なる強化に取り組む必要があります。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） **A**ction

- ・総合型地域スポーツクラブや各種団体等との連携を図りながら、市民がスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。また、日常生活にスポーツを取り入れ、継続して活動できる環境づくりに取り組みます。
- ・例年開催しているスポーツ関連行事のうち、体育健康フェスタに関して、福祉・子ども部と連携しながら、実施内容も含めた見直しに取り組みます。また、その他のスポーツ関連行事についても、「名張ケンコー！マイレージポイント」の活用等を通じて、市民がスポーツに触れる機会の充実に取り組みます。
- ・障害のある、ないを問わず、全ての市民がスポーツに親しめる機会を提供するとともに、障害者スポーツ競技を普及し、技術力向上を目指します。
- ・体育施設については、利用者の安全確保を第一に考え、引き続き適切な維持管理に努めながら、誰もが安心してスポーツに親しめる環境を整えるため、市民陸上競技場の夜間照明及びスタンドの整備を進めます。

6. 行政評価委員会による総合評価 **C**heck

現行通り施策の取組目標の達成に向け、各事業の推進を図ること。